

令和4年度 指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	中島病院旧本館（呼称：城西浪漫館）及び津山城下町歴史館
(2) 指定管理者	所在地 津山市小田中1312-10 名称 城西まちづくり協議会 代表者 会長 高須 昌明
(3) 公の施設の所管部署	観光文化部歴史まちづくり推進室
(4) 指定期間	令和2年4月1日 ～ 令和5年3月31日
(5) 評価対象期間	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	令和4年度実績	対R3年度	令和3年度実績	対2年度	令和2年度実績
※来館者数、喫茶利用者数、貸室利用件数は城西浪漫館のみ。	来館者数 23,263人 喫茶利用者数 4,113人 貸室利用件数 34件	8,285人 1,366人 1件	来館者数 14,978人 喫茶利用者数 2,747人 貸室利用件数 33件	3,690人 -1,450人 19件	来館者数 11,288人 喫茶利用者数 4,197人 貸室利用件数 14件
(2) 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・開館業務 ・貸室業務 ・喫茶室運営 ・自主事業（物販、イベントの開催、インフォメーション事業の実施 など） 				

3 収支の状況

(1) 収入	令和4年度実績	対R3年度	令和3年度実績	対2年度	令和2年度実績
(指定管理者の収入)	総額 16,510千円	2,354千円	総額 14,156千円	千円	総額 12,250千円
内訳	内訳		内訳		内訳
指定管理料	3,400千円	千円	3,400千円	千円	3,400千円
施設継続・再開事業助成金	千円	千円	千円	-400千円	400千円
利用料金	66千円	9千円	57千円	9千円	48千円
喫茶売上	1,724千円	578千円	1,146千円	-114千円	1,260千円
自主事業	11,028千円	1,767千円	9,261千円	2,202千円	7,059千円
雑収入（利子ほか）	292千円	千円	292千円	209千円	83千円
(2) 支出	令和4年度実績	対R3年度	令和3年度実績	対R2年度	令和2年度実績
(指定管理者の支出)	総額 16,288千円	2,158千円	総額 14,130千円	千円	総額 12,245千円
内訳	内訳		内訳		内訳
人件費	4,515千円	227千円	4,288千円	1,913千円	2,375千円
消耗費	87千円	-51千円	138千円	-368千円	506千円
光熱水費	578千円	26千円	552千円	68千円	484千円
通信費	117千円	1千円	116千円	18千円	98千円
警備委託	93千円	千円	93千円	-8千円	101千円
備品費	千円	千円	千円	-676千円	676千円
消防点検費	11千円	千円	11千円	千円	11千円
修繕料	192千円	154千円	38千円	15千円	23千円
保険料	99千円	54千円	45千円	11千円	34千円
事務費	157千円	-150千円	307千円	75千円	232千円
雑費	71千円	37千円	34千円	-674千円	708千円
租税公課	328千円	328千円	千円	千円	千円
喫茶仕入	836千円	461千円	375千円	75千円	300千円
自主事業費	8,475千円	1,023千円	7,452千円	1,392千円	6,060千円
小計	15,559千円	2,110千円	13,449千円	1,841千円	11,608千円
津山城下町歴史館	人件費 250千円	千円	250千円	10千円	240千円
	消耗費 5千円	千円	5千円	-5千円	10千円
	光熱水費 226千円	48千円	178千円	47千円	131千円
	通信費 71千円	千円	71千円	10千円	61千円
	警備委託 172千円	千円	172千円	-14千円	186千円
	消防点検 5千円	千円	5千円	1千円	4千円
	剪定委託 千円	千円	千円	-5千円	5千円
小計	729千円	48千円	681千円	44千円	637千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等	店頭及び城西まちづくり協議会定例会で意見聴取を行った。
(2) 指定管理者の自己評価	<p>中島病院との関係を大切に考えて開館したことにより、病院の駐車場を共有させていただき、お客さまの利便性を図ることができている。また、チャリー開設には多大な尽力をいただいた。</p> <p>中島家のひな人形の譲り受け、病院と関係する展示も充実することができた。</p> <p>地元田町町内会との関係も良く、多くの方に販売コーナーやカフェの利用をさせていただいている。高齢者の世帯へ商品の配達、老人会からまとまった商品の注文、カフェを会議、交流の場に使っていただいている。</p> <p>城西地区が重伝建地区に選定されていることが城北地区の刺激になり、武家地保存に取り組み機運が高まった。浪漫館に城西まちづくり協議会の事務局があることから「城北まちづくり協議会」立ち上げの支援をさせていただいている。</p> <p>カフェコーナーは、曳きたて珈琲をドリップで提供することにこだわり続けている。スタッフも日々練習を積んでいる。「このコーヒーは美味しい」とリピートして下さる方が増え、その言葉にスタッフはエネルギーをもらっている。</p> <p>前管理者から引き継いだ「コーヒーカン」が、多くの雑誌やメディアに取り上げられ、開始から3月末までに約700名の利用があった。人気のコーヒーカンで淹れた榕葉珈琲を、一人で気軽に飲める「榕葉珈琲の日」を月に1度設けたことで、日曜日のカフェ利用者増に繋がっている。</p> <p>貸し館は通常に戻りつつある。会議のほか、作品展、コンサートなどに使われるようになった。</p> <p>津山城下町歴史館は、「まるごと博物館フェア」ではだんじりの試乗、ワークショップ会場に使用した。地域おこし協力隊は「津山城下町難めぐり」でライトアップ、またレンタサイクルを設置して集客、活用にも努めた。</p> <p>中学生、高校生の職場体験や、ボランティアの受け入れをおこなった。また、小学校、中学校から浪漫館、歴史館の見学も多くあり、子どもたちに伝える機会が多かった。</p> <p>指定管理3年が終わり、2回目の指定管理契約を行った。今後の課題は「文化財を活かして、どのように収益を上げていくか」と考える。地域づくり活動だけでなく、経営的視点が求められる時期になったことを実感している。</p>
(3) 市の評価	<p>令和4年度も新型コロナウイルスの影響があったものの、喫茶利用者数は、令和2年度水準まで回復してきた。</p> <p>また、来館者数は昨年度に引き続き、平成21年度に指定管理者制度を導入してから過去最高を更新し、前年比約155%となった。コロナ禍でも地元の高校生とコラボしたり、コーヒーカンによる珈琲を気軽に楽しめる企画を行うなど創意工夫を凝らして営業を行い、収支を黒字にした。</p> <p>また、地域のお店として広く受け入れられ、高齢者の見守りなど商業以外の住民ニーズにも対応し、コミュニティ維持や活性化に寄与している。</p> <p>併せて、新たにレンタサイクル事業や美術展示事業などを実施するなど、積極的な自主事業運営に取り組んでいる。</p> <p>津山城下町歴史館については、竹灯籠のライトアップが新聞にも取り上げられ、知名度を向上させた。今後も歴史館を活用した事業に取り組んでほしい。</p> <p>情報発信については、ほぼ毎日フェイスブックを更新し、TVや新聞、雑誌にも数多く取り上げられ、来館者の増加につなげることができた。建物に魅力を感じる利用者は多く、施設利用のニーズも高いため、誰でもスムーズに利用できるようWeb上での貸室の紹介、予約受付などに積極的に取り組んでほしい。</p>